

第3回『大山横手道上ブナを育成する会 体験林業』

11月9日(日)、今年は鳥取森林管理署と「大山ふれあいの森」の調印式を行い、引き続き、当会の活動のひとつである体験林業が行われました。

ブナの体験植樹地は昨年同様、大山横手道沿いの2箇所、県内外から集まった82名の参加者が寒い中で、150本のブナの苗木を植えました。

その外に事前植林の20本 救済本数の80本を合わせると、ここでは、合計250本を育てることになります。

技術指導：鳥取森林管理署
特別支援：大山国立公園協会
連合 愛のキャンパ
伯耆町

受付

次々と到着 伯耆町 バス提供



開会セレモニー (司会 渡部)



「大山ふれあいの森」の調印式



挨拶

大山横手道上ブナを育成する会：
副会長 吉岡 様

鳥取森林管理署：
署長 伊藤 様

連合鳥取：
事務局長 五十嵐 様



記念植樹

10年生の若木

副会長 吉岡 様
鳥取森林管理署長 伊藤 様
全水道米子支部長 泉 様







樹齢 200 年
ブナは花が咲くのに 50 年
実を付けるのに 70 年



植樹を終えて



おにぎり
吸物 具が一杯
ナメコ・里芋は
会で栽培したものです。
お替りが沢山でした

